

## 将来の職業を考える

キャリアセンター所長  
立田 ルミ

大学に入学したのが昨日のように思われるかもしれませんが、3年生にとってはもう就職のことを考えなくてはならない時期が近づいてきています。将来の職業を決めるに当たって、どのような準備が必要なのか。大学受験の場合は偏差値といわれる目安がありますが、就職に当たってはどのような基準はありますか。しかも、大学の数よりも圧倒的に企業の数は多いのです。

ですので、1年生のうちから早めに進路を考えて相談に来て下さい。

キャリアセンターには、獨大生対象の求人情報や卒業生の就職先など、獨協大学独自の情報が蓄積されています。また、とりあえず就職するという前にインターンシップ制度がありますので、実際の企業を体験してみたい。アルバイトとは違った面が見えてくるのではないのでしょうか。また、いろいろなガイダンスおよびキャリア支援にかかる各種の講座を実施していますので、それらを受講してみたい。将来の職業を決める上で、きつと参考になることと思います。

そのため4年生に近くなるとあわててネットで企業を探し、Web登録をしている学生を多く見かけます。しかし、ネット上だけでは企業の実情がよくつかめません。また、最近では「一生の職業」という職業観が変化し、とりあえず就職し、自分に合わなければ転職するというケースも多くなっています。しかし、転職はよほど実力がなければ不利になり、それほど甘いものはありません。

キャリアセンターでは、全学生の進路(就職)に関する指導および相談を常時行っ



私たちと  
いっしょに  
進路を  
考えませんか。

\*「キャリアセンター通信WING」は  
今月号より連載をスタートします。キ  
ャリアセンターからのタイムリーな話  
題をお届けします。

キャリアセンターが主催する進路・  
就職のための行事およびキャリア  
支援講座をすべて掲載している  
「2004年度進路を考えるハンドブ  
ック」はキャリアセンターで配布中

## 総合企画部からのお知らせ

また、獨協大学ホームページモバイル版でも新着情報や在学生向けの休講情報、入試情報などを随時お知らせしますので、こまめにチェックするように心がけてください。<http://www.dokkyo.ac.jp/m/>

## 仕事の現場から

interview

## 日本語を話せる人を 世界中に増やしたい



ブロック大学(カナダ) 日本語講師  
岩田園美 さん  
(82年英卒)

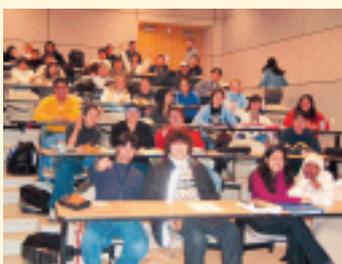
Iwata Sonomi  
1960年、東京都生まれ。本学卒業後、カリフォルニア大学ロサンゼルス校、同大学リバーサイド校ESL(第二言語としての英語)コースに学ぶ。在日英国大使館、カナダ大使館勤務を経て、2000年より現職。02年ブロック大学修士課程(Master of Education, in Curriculum Studies, Teaching English as a Second Language)修了。

カナダはトロントから車で1時間半。有名なナイアガラの滝にほど近いオンタリオ州に、私が勤務するブロック大学はあります。日本語教師としてのキャリアは今年で10年。はじめの5年はオタワにあるカナダの外務省で、日本に滞在予定の外交官にビジネス会話の指導をしたり、週末に日本語学校で子どもたちを相手に簡単な日常会話を教えたりしていました。そして2000年から、この大学で教鞭を執っています。

教師になりたての頃は教壇に立っているのが精一杯で、どのように教えたらいいかまるでわかりませんでした。授業プランを遂行させることが先に立ち、学生が理解しているかどうかにまで頭が回らなかつたのです。そんな時にアドバイスをくれたのがブロック大学修士課程でお世話になった教授でした。「授業が終わった後は必ず学生の反応をメモして、次回に備えるようにしなさい」。授業の主人公は自分ではなく、学生

であることに改めて気づかされた瞬間でした。それからは、一人ひとりの理解度に応じて授業プランを変更し、放課後や休日も学生とコミュニケーションを取るなど、よりよい授業をめざして努力を重ねています。ジャーナルに掲載される最新の外国語教授法にもいち早く注目。単に文法を教えるだけでなく、学生同士に会話をさせるなどして、実社会で役立つ日本語の向上に努めています。やりがいを感じるのには、やはり学生の成長を目の当たりにした時。「先生に教えていただいていた日本語が好きになった」という言葉を聞くたびに、今までの努力が報われる気がするのです。

日本語の授業にも最大限取り入れています。そしてこれからは、オンライン授業を企画したり、わかりやすいDVD教材などを作っていければと思っています。最近、日本の新聞を読むにつれ、就職難の記事を多く目にします。しかし、たとえ今思った職に就けなくても、目標を忘れず努力を続けていけば、いつか必ずその職を手にはできるはず。私が教えている学生たちにも、日本語という大きな壁にぶつかりながら、思う存分人生に迷ってほしいと思います。そんな試行錯誤のプロセスこそ、一生かけて取り組める本当の夢が光り輝いていると思っております。



フレンドリーな雰囲気が出るブロック大学の教室